



2021年4月28日

各位

会社名 株式会社アカツキ
代表者名 代表取締役社長 香田 哲朗
(コード番号 3932 東証第一部)
問合せ先 CFO 米島 慶一
(TEL 03-5422-7757)

2021年3月期連結業績の前年同期実績との差異 及び個別決算における特別損失の計上に関するお知らせ

2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の当社連結業績の前年同期実績との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、2021年3月期の個別決算におきまして、下記のとおり特別損失が発生しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期の連結業績と前年同期実績との差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前年同期実績(A) (2020年3月期)	百万円 32,048	百万円 11,053	百万円 10,779	百万円 6,620	円 銭 476.29
今回発表業績(B) (2021年3月期)	31,096	11,294	11,152	6,345	453.86
増減額(B-A)	△952	241	372	△275	△22.43
増減率(%)	△3.0	2.2	3.5	△4.2	△4.7

2. 前期実績との差異理由

既存タイトルの堅実な運用とポートフォリオの積み上げにより、ゲーム事業としては前期比で増収となったものの、事業の選択と集中を進めたライブエクスペリエンス事業では前期比で減収となった結果、当期(2021年3月期)連結売上高につきましては、前期連結実績(2020年3月期)と比較して減収となりました。

一方、連結営業利益及び連結経常利益につきましては、連結売上高の減収による影響があったものの、ライブエクスペリエンス事業において選択と集中を進めた影響等により、前期連結実績と比較して増益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、連結営業利益及び連結経常利益の増益による影響があったものの、投資有価証券評価損等があったため、前期連結実績と比較して減益となりました。

3. 個別決算における特別損失の計上

当社グループの更なる成長のためには、限られた経営資源を最適化し、より効果的かつ効率的に事業を進める必要があります。そのため、通期業績を慎重に検討し、財務の健全性を確保する観点から、当社が保有する投資有価証券の回収可能価額を保守的に見込んだ結果、特別損失として投資有価証券評価損1,161百万円を計上することとなりました。

以上